

## ふれあい動物園ゾーンの展示イメージ

### 展示内容

このゾーンでは、現況の施設を有効利用しながら、動物との直接的なふれあいやショー的要素を持ったイベント、レクチャーなどを展開することにより、感動的で印象深い動物との出会いを演出する展示や運営を行う。

また、将来的には、隣接する里山ゾーンと連携した人間の生活に深いかかわりを持つ家畜動物の展示スペースとして活用することや、学校教育で登場する動物を展示し、児童や先生に生きた教材を提供する場として利用することも検討する。

### 展示方法

柵や仕切壁をできるだけ低く抑えた、動物にできるだけ近づける展示方法を原則とするが、今後の改修にあたっては、動物へのストレスやいたずら防止のための対策などに十分配慮することが必要である。

### 園内配置

現況施設の有効利用を図ること、里山ゾーンとの連携を図ること等の理由により、このゾーンの配置は現在のふれあい動物園と同じ位置とする。

### 動物種

現在の家畜種を中心とした動物構成とする。